



校長室だより



Newsletter from the Principal 校長簡訊



「賢く安全に使う」という力を磨く ～ 輝ける明日を創ろう～

新堀 隆久

生徒のみなさん、こんにちは。長雨が続き、体調を崩しやすい時期です。無理せず、心身のメンテナンスを心がけてください。

先日、ある講演会で、インターネットやSNSに潜む危険性について大切なお話を伺いました。その中から特に覚えておいてほしい3つのポイントをお伝えします。

1. 写真1枚から「個人」が特定される

スマホの写真には、撮影場所や日時のデータ（位置情報）が自動的に記録されています。InstagramやXは投稿時に自動で消去されますが、LINEで「オリジナル画質」を選ぶと、位置情報が残ったまま相手に届いてしまいます。SNSで親しくなった相手から「メールで送って」と誘導され、写真から自宅を特定される被害も実際に起きています。安易に「高画質」で送らないよう気をつけましょう。

2. AIの回答を「唯一の正解」にしない

最近、悩みを生成AIに相談する人も増えていきます。しかし、AIの回答はあくまで「一つの意見」に過ぎず、必ずしも正解とは限りません。人生や人間関係の重大な悩みを、ネットの言葉だけで判断するのはとても危険です。困ったときは、家族や先生など、目の前にいる「現実の人間」に相談してください。皆さんの周りには、いつでも話を聞いてくれる「安全基地」があります。

3. 「軽い気持ち」の投稿が一生残る

かつて、アルバイト先で悪ふざけの動画を投稿した生徒たちが、店の閉店や損害賠償、退学処分にまで追い込まれた事例が相次ぎました。一度ネットに広がった投稿は、削除してもアーカイブ等に残り、完全には消せません（デジタルタトゥー）。自分の投稿だけでなく、デマや悪口への「いいね」「拡散」も、加害者として責任を問われる行為です。「広める前に、一歩立ち止まって考える」習慣をつけましょう。

【おわりに】

インターネットの先で動いているのは、現実の人間関係です。「自分の身は自分で守る」意識と、画面の向こうの人を思いやる心を忘れず、賢く安全にSNSと付き合っていきましょう。